

みずほCustomer Desk Report 2018/12/10号(As of 2018/12/07)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	112.79
TKY 9:00AM	112.73	1.1376	128.23	GBP/USD	1.2778
SYD-NY High	112.93	1.1424	128.66	AUD/USD	0.7235
SYD-NY Low	112.56	1.1361	128.17		
NY 5:00 PM	112.74	1.1380	128.53		
NY DOW	24,388.95	▲ 558.72	日本2年債	-0.1400	1.00bp
NASDAQ	6,969.25	▲ 219.01	日本10年債	0.0500	0.00bp
S&P	2,633.08	▲ 62.87	米国2年債	2.72	▲ 4.30
日経平均	21,678.68	177.06	米国5年債	2.70	▲ 5.24
TOPIX	1,620.45	9.85	米国10年債	2.86	▲ 3.43
シカゴ日経先物	21,340	▲ 240	独10年債	0.2495	1.60bp
ロンドンFT	6,778.11	74.06	英10年債	1.2645	2.25bp
DAX	10,788.09	▲ 22.89	豪10年債	2.4610	▲ 1.55bp
ハンセン指数	26,063.76	▲ 92.62	USDJPY 1M Vol	6.25	▲ 0.20%
上海総合	2,605.89	0.71	USDJPY 3M Vol	6.95	▲ 0.13%
NY金	1,252.60	9.00	USDJPY 6M Vol	7.45	▲ 0.09%
WTI	52.61	1.12	USDJPY 1M 25RR	-0.95	Yen Call Over
CRB指数	184.15	2.85	EURJPY 3M Vol	8.51	▲ 0.20%
ドルインデックス	96.51	▲ 0.30	EURJPY 6M Vol	8.96	▲ 0.06%

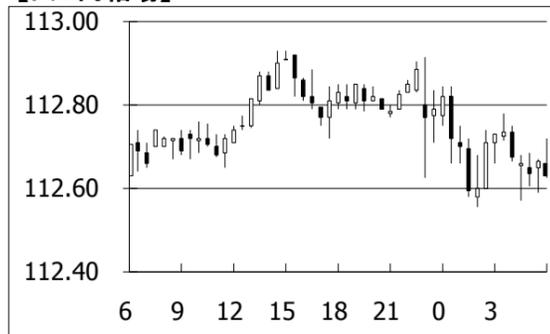
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月7日	14:00	日	景気一致指数・速報	10月 104.5 117.1
	19:00	欧	GDP(前期比/前年比)・確報	3Q F 0.2%/1.6% 0.2%/1.7%
	22:30	米	非農業部門雇用者数変化	11月 155k 198k
	22:30	米	失業率	11月 3.7% 3.7%
	22:30	米	平均時給(前月比/前年比)	11月 0.2%/3.1% 0.3%/3.1%
12月8日	00:00	米	ミシガン大学消費者マインド・速報	12月 97.5 97.0
		中	貿易収支	11月 \$44.74b \$34.40b
		中	輸入/輸出(前年比)	11月 3%/5.4% 14%/9.4%
12月9日	10:30	中	PPI(前年比)	11月 2.7% 2.7%
	10:30	中	CPI(前年比)	11月 2.2% 2.4%

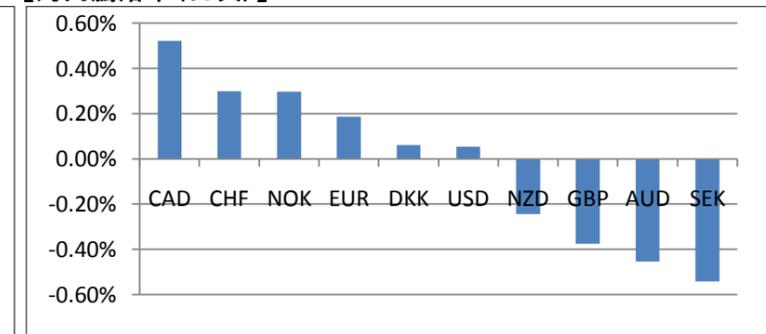
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月10日	08:50	日	GDP(季調済/前期比)・確報	3Q -0.5% -0.3%
	18:30	英	鉱工業生産(前月比/前年比)	10月 0.1%/-0.1% 0%/0%
	18:30	英	製造業生産(前月比/前年比)	10月 0%/0% 0.2%/0.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.00-113.00	1.1350-1.1450	127.50-129.00

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日の海外時間のドル円相場は、軟調な値動き。米11月雇用統計では、非農業部門雇用者数が15万5000人の増加、平均時給の伸びが前月比0.2%と市場予想を下回る結果となったことで、ドル円は112円台後半から112円台半ばまで反落した。FRBの利上げが従来よりも早く打ち止めになるとの懸念が広まったことで米株や米金利が軟調推移し、それに伴いドル円は安値112.56円をつけ、112.74円で越えた。本日のドル円相場は、重要指標に欠け特段材料の無い中、先週金曜日の海外時間の流れを引き継ぎ軟調な値動きを予想する。

東京	東京時間、ドル円は112.71レベルで取引を開始。前日の米国株が引けにかけ下落幅を縮小しており日経平均も落ち着いた値動きとなったことや、北米時間には米雇用統計の発表を控えていること等から動意薄く推移。午後に入り、ドルが買われる局面では112.93まで上昇したが積極的に上値を追う展開とはならず、112.87レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、112.87レベルでオープン。米雇用統計を控える中で112.72-88レベルの狭いレンジで小動きとなり112.85レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1370レベルでオープン。朝方、イタリアのトリア財務相の辞任観測が流れたこともあり上値重く始まったが、米雇用統計を控える中1.1361-84レベルの狭い値幅でもみ合い1.1366レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2772レベルでオープン。朝方発表の英住宅価格が6年ぶりの低水準となる中でポンドを売りが強まり一時1.2736まで下落。その後はブレジット関連のヘッドラインが交錯する中で1.2781まで買い戻される場面もあったが結局1.2764レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外時間のドル円は、日経平均の堅調推移を受けて一時112.93まで上昇するが、米雇用統計発表を控える中、次第に112.80近辺で小動きとなり、112.85レベルでNYオープン。注目の米11月雇用統計発表では、非農業部門雇用者数と平均時給が予想を下回ったことから、ドル売りで反応し112.63まで下落するが、その後米金利やダウ先物が上昇する動きにつれて112.91まで反発。10時発表の米12月ミシガン大学消費者信頼感が予想を上回り、同時間帯に外米NEC委員長がインタビューで「中国自動車税率は今後下がるだろう」、「中国大手の幹部逮捕によって米中協議は中断しないだろう」と米中通商協議に関して楽観的な見方を示したが、ドル円は反応薄。その後、米株がマイナスイに転じたことから下落再開し、安値112.56をつける。午後はブレitbartFRB理事の「漸進的利上げは短期的に適切」との発言に112.77まで上昇。しかし、依然米株安・米金利低下の展開が続く中、上値は重く、112.74レベルでクロス。一方、海外市場ではイタリア予算問題をめぐりトリア財務相の進退に関するヘッドラインが飛び交ったが、ユーロドルの反応は限定的だった。結局、1.1370近辺で小動きとなり、1.1366レベルでNYオープン。朝方は米雇用統計の結果にドル売りで反応し、1.1415まで上昇。その後1.1376まで反落するが、米金利低下を受け、ドル売り優勢な展開の中、1.1424まで高値を切り上げる。終盤は週末を控えた調整に反落し、1.1380レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 牧・綱島